

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



第205号 2021年6月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)
住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地
電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



「ベッコウトンボ調査会」を開催！今年は67頭を確認しました！

4月25日(日)に実施した「ベッコウトンボ調査会」において、67頭※のベッコウトンボを確認することができました。

(※この数は調査日の午前中、約1～2時間の間に確認できたベッコウトンボの数で、羽化した総数ではありません)

昨年の調査会で確認できたベッコウトンボは、23頭という結果でした。近年の調査会では約100頭を確認できたことを考えると危機的な結果でした。主な原因は、気候の変化や、外来種などの天敵などの影響が総合的に関係したと思われます。そのため、昨年は以下の取り組みを継続的に行い、ベッコウトンボが生息・産卵しやすく、ヤゴが安全に生育できる環境を整えてきました。

- ① NPO 法人岩井里山の会による沼の北側にあるベッコウトンボ増殖用の生簀の整備
- ② NPO 法人桶ヶ谷沼を考える会によるベッコウトンボ増殖用のコンテナの新設(甌塚)
- ③ 神奈川トンボ調査・保全ネットワークによる入り江の掘削作業

今年は、その成果が見えてきたため、今後もこの取り組みを続け、まず100頭を目標にし、将来的には沼全体からベッコウトンボが羽化するかつての桶ヶ谷沼の姿を復活させたいと考えています。下の表は各調査場所の令和2年度と令和3年度の結果です。

調査場所	台地西	甌塚	沼入り江	木道・菜の花畑	実験池	生簀
頭数 (R2)	0	1	0	0	3	19
頭数 (R3)	0	35	2	1	0	29



ベッコウトンボ増殖用の生簀



甌塚に設置した網掛けコンテナ

- ・天敵のアメリカザリガニの侵入を防ぐ。
- ・水面と水草の面積を調整する。

- ・ベッコウトンボのヤゴだけを残す。
- ・網をかけ他のトンボの産卵を防ぐ。

自然塾を開講しました

令和3年度の「おけがや自然塾」に25人の小中学生が入塾しました。

5月3日には第1回自然塾「ベッコウトンボを観察しよう」が開催されました。ベッコウトンボの特長や生態などの説明を受けた後、沼の「入り江」や「飯塚の水辺」でベッコウトンボをはじめとするトンボの個体数調査や生態の観察を行いました。塾生たちは約50分の間に、ベッコウトンボ27頭、ハラビロトンボ9頭など、合計6種類46頭のトンボを見つけることができました。



飯塚の水辺でトンボの確認をする塾生たち

5月16日には第2回自然塾「アリの観察」が開催されました。アリの体のつくりや仕掛ける罠についての説明を受けた後、桶ヶ谷沼周辺に出かけアリ捕獲用の罠を仕掛けました。エサには粉チーズを使いました。匂いにアリは惹かれるようです。約30分後に仕掛けた罠を調べると、中には数匹のアリが入っており、その拡大した映像を見ながら講師から捕まえたのアリの特長の説明を受けました。



罠を仕掛ける塾生たち

センター行事を開講しました

5月23日に第1回センター行事「いろいろな工作教室」を開催し、14人が参加しました。講師の説明や支援を受けながらタカサゴユリの種子が入っていた袋（果実）やフウセンカズラの種子、マツボックリ、ドングリ、竹などを使って「キツネとフクロウの置物」「ヤジロベエ」「せみしぐれ」を創意工夫しながらオリジナル作品を作りました。参加者は完成した作品を大切に持ち帰りました。



せみしぐれ
回すとアブラセミの鳴き声



キツネとフクロウの置物

センター行事：「夏のトンボ観察会」

- ☆ 日時 7月18日(日) 13:30~15:30
- ☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
- ☆ 対象 一般(小学生は保護者1人の同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)
- ☆ 内容 色鮮やかな夏のトンボの観察
- ☆ 服装・持ち物
マスク着用、長そで・長ズボン、軍手、長靴(ある人)、少雨の場合カッパ
- ☆ 備考 新型コロナウイルスの感染状況・天候によっては中止になることがあります。
- ☆ 募集人数 20人 先着順

*申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ